

# 令和2年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市宮川交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字堅田二丁目2番地6
指定管理者名	和徳学区町会連合会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況  施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。	
2 自主事業の実施状況  利用者の増加を図るため継続して自主事業を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から自主事業の実施を見送った。	
3 市民サービス向上のための取組状況  緑地帯の草刈りを実施し、施設をより利用しやすいよう工夫をするなど、環境美化に努めている。 また、玄関への手指消毒用アルコールの設置、検温の実施、利用団体代表者に対する利用者の連絡先把握の声掛け、換気の実施等、新型コロナウイルス感染症対策に努めている。	
4 市民ニーズの把握の実施状況  利用者からの意見を把握するため、目安箱を設置した。	
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）  令和2年度の利用許可件数は2,213件、利用者数は20,999人となっており、利用許可件数、利用者数ともに前年度を下回る数値となっている。（参考：令和元年度 利用許可件数2,743件、利用者数28,879人）	
6 指定管理業務の収支状況  施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	

## 7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

## 8 成果指標の達成度

利用件数・・・目標件数2,652件に対し、利用件数が2,213件のため、達成度は83.4%  
 利用者数・・・目標利用者数31,920人に対し、利用者数が20,999人のため、達成度は65.8%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	いずれの項目についても、適正な運営を行っている。	利用者へのサービス向上・自主事業の実施及び利用者の増加に努めていく。
施設の管理	B	緑地帯の草刈りを実施して、施設の美観に努めている。	引き続き施設の環境整備に努めていく。
経理の状況	B	適正な帳簿記帳を行い、また、経費の削減に留意している。	予算執行の把握をより強めていく。
団体の財務状況	B	特に無し。	特に無し。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	新型コロナウイルス感染症対策のため、検温、手指消毒用アルコールの設置、利用団体代表者に対する利用者の連絡先の把握を呼びかけるなど、適切な対応を実施している。	引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、可能な範囲で自主事業の実施について検討していただく。
施設の管理	A	緑地帯の草刈りを実施するなど、環境美化に努めている。また、個人情報や文書等の管理も適切に行っている。	引き続き施設の環境整備に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

**【評価の視点】**

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

**【評価の基準】**

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準□

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する